

## 『お大師山八十八体石仏』の作成にあたり

喜茂別小学校の前方の丸い山が、喜茂別町の名所・旧跡のひとつお大師山です。お大師山には、昭和5年に寄進者名が記された薬師如来・千手観音など15種八十八体の石仏が建立されたといわれています。

喜茂別町フレッシュ大学は、八十八体石仏寄進者の関係者が会員に在籍していたことや、フレッシュ大学の活動目的の一つである奉仕活動の一環として、町の史跡の保護に貢献するため、毎年お大師山の清掃活動を行なっていますが、寄進者の関係者の高齢化や町外への移転などにより、お大師山八十八体石仏について詳しく知る会員が少なくなってきました。また、永年の風化により石仏・台石に刻まれている寄進者名などが欠けて読めないものも出てきています。

喜茂別町フレッシュ大学・喜茂別町社会教育委員会では、町の名所・旧跡のお大師山八十八体石仏について、次の世代に町の歴史を長く残すために、新しく冊子として「お大師山石仏八十八体石仏」（電子データ版）を作成いたしました。

本冊子の作成にあたり、昭和61年度に喜茂別中学校を卒業された、梅沢博昭さん、伊藤真紀さん、牧野美和さんが中学3年生の夏休みに作成された自由研究レポート（全体指導・小坂英雄教頭、写真撮影・水江達教諭）を参考にさせていただきました。研究レポートには、「石仏の作りはそれぞれ違いますが、すべて温かい表情で見つめており、心を込めて作った石工さんの気持ちや、寄進者の気持ちがあらわれているように思えました。」とあり、私たちは本冊子の作成により、石仏とともに心の温もりを永く伝えていきたいものと、思いを新たにしました。

喜茂別町フレッシュ大学  
喜茂別町社会教育委員会